



第6期更別村総合計画

住みたい 住み続けたいまち
ともにつくろう みんなの夢大地



北海道 更別村



まちづくりテーマは、

住みたい 住み続けたいまち ともにつくろう みんなの夢大地

です。

これまで『いつまでも住み続けたいまち 豊かさ・安心・笑顔あふれる夢大地』をテーマに、いつまでも住み続けたいと思われるまちづくりに取り組んできました。

住み良いまちづくりは、これからも続けていくことが大事であり、今まで以上に、多くのみなさんと力を合わせてつくりあげていくことが必要です。このような気持ちを込めて、今回のまちづくりテーマを決めました。

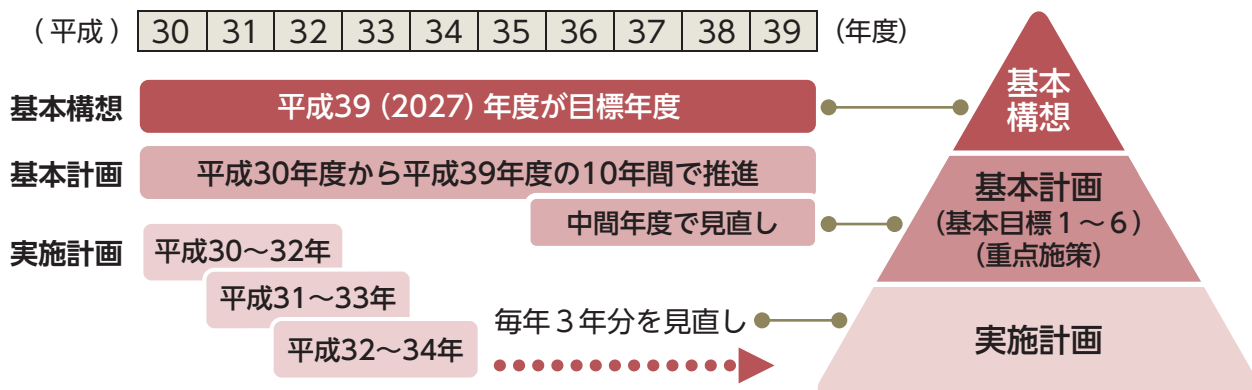


そうごうけいかく、って、私にもかんけいあるの？

10年ごとに作る総合計画は、更別村のまちづくり全体について、どう取り組んでいくかを示しています。村のみなさんにとって、大事な計画なんです！



「第6期更別村総合計画」の計画期間は、平成30（2018）年度から平成39（2027）年度までの10年間です。「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成されています。



「住みたい 住み続けたいまち ともにつくろう みんなの夢大地」に向けて取り組む、6つの基本目標を定めます。

基本目標

1

便利に生活できるまちづくり

土地利用 住宅・宅地 上水道 排水処理
公園、花や緑の空間 道路 公共交通 情報通信



コンパクトさやアクセスの良さなどをいかした土地利用や基盤整備を行い、住民や村を訪れる人たちが、便利さや快適さを村内全域で感じられるまちづくりを進めます。

- 人口減少や少子化・高齢化をふまえ、空き地や空き家を増やさない土地利用を進めるとともに、移住や定住に必要な住環境、子どもが安全に遊べる環境、高齢になっても移動しやすい環境など、生活基盤の整備を進めます。
- 上下水道や道路、情報通信施設など日常生活に欠かせない施設や設備については機能の向上に努めるとともに、計画的な維持管理を進めます。

基本目標

2

産業が元気なまちづくり

農業 林業、内水面漁業 商工業 観光関連産業
起業支援、雇用創出



人口減少・高齢社会でも産業が元気であり続けるよう、これから働く若者や村に住むことを希望する人たちが、ここで働いてみたい、夢を叶えてみたいと思うまちづくりを進めます。

- 農業をはじめとした第1次産業、暮らしに欠かせない商工業、人や経済の流れを生み出す観光など、地域産業の振興や活性化に向けた取り組みを進めます。
- 今ある職業に加えて村内で就くことができる職業分野を広げるために、既存の産業や資源、人材などが相互に結びつき、新たなビジネスの参入や、雇用の場などが増えるよう取り組みます。

基本目標

3

心身の健康を支えるまちづくり

健康づくり、保健 地域医療 地域福祉
高齢者福祉 障がい者福祉 社会保障



小さい村だからこそできる保健、医療、福祉の取り組みを進め、一人ひとりが健康に心がけながら、住み慣れた場所で、心身ともに元気に暮らせるまちづくりを進めます。

- 毎日を健康に過ごすことの大切さと健康づくりの重要性を広く伝えるとともに、保健、医療、福祉の連携を深めながら、健康寿命を延ばす取り組みを進めます。
- 年齢や障がいの有無、家族形態などに関わらず、誰もが住み慣れた場所で地域の人達と支え合い、安心して生活することができるよう、住民と行政が一体となって、福祉の充実を図る取り組みを進めます。

基本目標

4

環境を守り安心して生活できるまちづくり

防災 消防、救急 交通安全、防犯 自然や景観の保全、環境
美化 ごみ処理、減量化、再利用 環境共生 火葬場、墓地



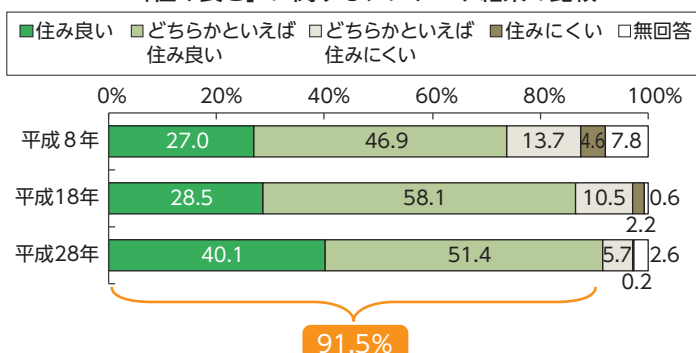
豊かな自然や代々守られてきた農村景観など、うるおいを感じられる環境を引き継ぐとともに、事故や犯罪、災害などの発生を抑制し、安心して生活できるまちづくりを進めます。

- 暮らしの安全に対する意識を高めながら、交通事故や犯罪、近年増えている自然災害などから命や財産を守る対策を進めるなど、安心して生活できる環境づくりに努めます。
- 日高山脈を背景に広大な畑が広がる農村景観や、貴重な自然が残る空間も含め、本村の豊かな自然環境を次代に引き継ぐことができるよう、負荷の軽減に努めながら、適切な保全と利用管理を行います。

みんな、さらべつって、
住みやすいとおもっ
ているのかな？



「住み良さ」に関するアンケート結果の比較



10年おきのアンケートでは、「住み良い」と「どちらかといえば住み良い」の合計は増えていて、平成28年は9割をこえました！

基本目標

5

人が育つまちづくり

社会教育 芸術、文化 スポーツ 子育て支援 学校教育
青少年育成 国内外交流



小規模だからできる子育てや学校教育により地域ぐるみで子どもを育てるとともに、社会教育や学習、文化、スポーツなどを通じて、ひとづくりを大切にするまちづくりを進めます。

- 本村に住む誰もが、学びやスポーツに主体的に取り組むことができ、文化や歴史とのふれ合い、国内外との交流などを通じて成長できる環境づくりを進めます。
- 次代を担う子どもたちには、学力や体力が向上するよう努めるとともに、自ら考え行動する力や、本村で育ったことを誇りに思う気持ちが養われるようにします。
- 子育てを行っている家庭には、安心して子育てが行えるよう、地域ぐるみでの支援や環境の整備を進めます。

基本目標

6

知恵を出し合うまちづくり

情報発信、移住促進 コミュニティ、協働のまちづくり
青年、男女共同参画 広報、広聴 行政運営、財政運営
広域行政、広域連携



将来を見据え持続可能なまちづくりを進めるとともに、地域や村の課題をみんなで共有し、ともに知恵や力を出し合うことで解決していくまちづくりを進めます。

- 村の魅力を積極的に情報発信できる力を高め、交流人口の拡大や移住の促進につなげます。
- 行政区など住民に身近なコミュニティ活動が、人口減少や高齢化などによって停滞しないよう努めます。
- 村を取り巻く動向や将来展望を見据え、持続可能な行財政運営に努めるとともに、情報や課題などを村全体で共有できるよう、住民目線による協働のまちづくりを進めます。



このなかで、
イチオシのものって、
あるのかな？

計画の中で、重点的に進め
ていく内容は、次のページ
にあります！



重点 施策

まちづくりテーマ「住みたい 住み続けたいまち ともにつくろう みんなの夢大地」を実現するため、重点的に進める内容です。

1 産業の活性化と雇用の創出により、住みたいまちをつくる

① 地域産業の強化と担い手の確保・育成を推進します

- 農業基盤の整備を促進し、生産性を高め災害に強い農地づくりに努めます。
- 新規就農希望者の受け入れなど、担い手の確保を進めます。
- 中小企業振興条例の理念に基づき、中小企業の振興と地域経済の持続的な発展に取り組みます。



② 起業支援と雇用の創出により、働く場の確保に取り組みます

- 起業家等の支援、事業所の設置により雇用を創出し、地域の活性化を図ります。
- 特産品の研究開発や販路拡大等をめざす事業者を支援し、持続的な産業振興を図ります。
- 多様な知識や経験を持つ人材の還流に努め、ICT※の推進や異業種間の交流から起業に結びつく取り組みを進めます。

※Information and Communications Technologyの略で情報通信技術のことを言います。

2 新たな人の流れを増やし、住んでみたいまちをつくる

① 移住・定住に結び付く環境の整備に努めます

- 移住に関心のある方への効果的な情報提供や移住者へのサポートなど、移住につながる環境の充実を図ります。
- ニーズに応じた宅地分譲の造成を図り、魅力ある住環境の整備に努めます。

② 交流人口の増加に向けた取り組みを推進します

- 観光・レクリエーション施設の充実により、集客機能や利便性の向上を図り、交流人口を増やす取り組みを進めます。
- イベントや交流事業を通じて人の流れを呼び込み、交流の継続によって二地域居住※の拠点や移住への発展につながるよう取り組みます。



※都会で暮らす人が、週末や一年の一定期間を地方の農山漁村で暮らすことです。

③ 生活環境の良さなど本村の魅力を積極的に発信します

- 空港、高規格道路等の交通アクセスの良さや、自然が豊かで暮らしやすい環境など、村の強みや優位性を積極的に発信します。
- ホームページやSNS※など多様な媒体の活用により、村の情報発信に努めます。

※Social Networking Serviceの略で、インターネット上で多くの人とつながりを持ったり交流できるサービスです。Face bookやLINE、Instagramなどが有名です。

3 生活の安心を高め、住み続けたいまちをつくる

① 誰もが安心して住み続けられる生活環境の整備に努めます

- 安心して暮らせる生活基盤の維持・充実、快適な生活環境の整備に努めます。
- 健康で長く住み続けられるよう、保健・医療・介護・福祉など関係機関が連携を深め、切れ目のないサービスを提供するしくみづくりを進めます。



② 若い世代が希望を持てるよう、さまざまな角度からサポートします

- 若い世代が安心して出会い、結婚や出産、子育てができるよう環境を整備します。
- 子育てに関する身体的、精神的、経済的負担が軽減されるよう、取り組みや相談体制の充実を図ります。
- 子どもの心身の健康づくりをサポートするとともに、地域性を活かした特色ある教育を進めます。

③ 防災意識を高め、災害に強いまちづくりを進めます

- 近年の多様な自然災害の増加に対応するよう、防災体制の充実や関連計画の適宜見直しに努めます。
- 住民の防災意識、危機管理意識を高め、災害発生時に対する備えの充実に努めます。
- 自力での避難が難しい人たちに対する支援体制の充実に努めます。

4 とともに学び、助けあい、参加するまちをつくる

① 生涯を通して学び続けることができる環境づくりに努めます

- 子どもたちが、地域とともにのびのびと育つよう教育環境を整備するとともに、新たな時代に対応した教育に努めます。
- 青少年から高齢者まで、各世代で必要な学びの機会を提供するとともに、自主的な学習活動を支援します。



② 多様な人が関わり、参加するまちづくりを進めます

- 協働のまちづくり事業等の利用促進などにより、住民の自主的な活動を支援するとともに、次代を担うまちづくり人材の発掘と育成に努めます。
- 広く住民の意見を聴く機会の充実、まちづくりに関する課題の情報共有に努めます。
- 子どもたちに郷土愛を育てる教育や、地域で支えあう意識を醸成し、村を長期的に支える人材の育成に努めます。

おねがい!どんちゃん



これからも、
更別のまちづくりについて、
教えてほしいです！

この計画の取り組み内容について
は、今後も広報などでお知らせ
します。

これからも、住民のみなさんと
力を合わせて、住み良いまちづくり
を進めていきたいと思いますので、
ご協力よろしくおねがいします。



第6期更別村総合計画〔概要版〕

平成30年3月

北海道 更別村

〒089-1595 北海道河西郡更別村字更別南1線93番地

電話 0155-52-2111

<https://www.sarabetsu.jp>

さらべつ

